【災害時等医療支援に関する連携協定調印式】

令和８年１１月１４日（土）、自衛隊札幌病院（病院長　菊池陸将）と札幌市医師会との災害時等医療支援に関する連携協定の調印式が執り行われた。本協定は、災害時等における医療支援体制の強化を図り、地域住民の方々の安全と安心を確保することを目的として締結され、災害発生時等における医療支援や医療情報の共有、感染症まん延時の対応、人的・物的支援などを円滑に行うため、平時から幅広い分野において双方が連携・協力するとともに各種訓練にも相互参加し、また、透析患者や在宅酸素療法患者など災害時に特別な配慮を要する方々への対応についても、平時から情報共有に努めることで合意した。災害時等の連携を実効性あるものにするためには、日頃から顔の見える関係を構築し、関係機関が互いの能力や役割、さらには相互に補完できる分野について理解を深めておくことが重要であり、本協定の締結は、こうした関係を築き、いざという時に迅速かつ適切な対応を可能にするうえで、大変意義深いものとなった。

自衛隊札幌病院は、引き続き国民の生命と健康を守り、地域の方々の安全と安心に寄与できるよう尽力するとともに、いついかなる事態にも的確に即応できる病院を目指し、万全の体制を整えていく。



自衛隊札幌病院長と札幌市医師会長



調　印　式



病院長挨拶



記 念 撮 影